

いっぽ だより

はじめのいっぽ

2023年5月29日

薄緑がどんどん濃くなり目にまぶしく木のすき間がなくなってきた今日この頃、皆様如何お過ごしでしょうか。新一年生もようやく学校にも慣れ、初めての遠足も良い思い出ができたと思います、はじめのいっぽでも元気に友達と交流していますがこれからも安心・安全を基本にお子さんに寄り添って行きますのでご安心ください。

五月二十日に行われた、はじめのいっぽの定期総会も理事・会員の皆さんのご審議を受け、新たな事業目標に向かってスタートしました。これからゆっくり・じっくり・丁寧に元気な子どもたちを目指して前進しますので、はじめのいっぽの背中を支えて下さいますようよろしくお願いいたします。

二十七日には羊の毛刈りを八千代町の増田さんをお願いし「もこもこ」に覆われたミイちゃんメイちゃんの毛もあつという間に丸裸に、一年ぶりの床屋さんに気持ち良さそうに動き回っていました。

畑情報では長崎先生の指導でいっぽ農場と途別農場にさつま芋・枝豆・モロッコ・トマト・きゅうりなどの苗種を植える計画で準備していますので秋の収穫目指して手入れをしていきます。収穫が楽しみです。

はじめのいっぽでいつも思う事ですが新しいはじめのいっぽ結が出来て早いもので三年五か月が過ぎました。その結の通路を通り玄関に向かう途中、子どもたちが「あぁいいにおい」「今日のおやつは何かな」これは私だけでなくみんなが感じている事でしょう。子どもたちに少しでも体に良いのをと出来る限り手作りに心掛けて先生方は日々ご苦労されています。六月十日はいっぽ食堂の日です、子どもたちのおもてなしを楽しみに多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

今年は薬膳カレーに挑戦しますので是非ご来店を！

山菜料理も付きますよ

六月は多くの学校で運動会が予定されています、子どもたちはその日のためにと一生懸命練習を重ね頑張っていますのでみなさんの応援よろしくお願いいたします。

代表 石橋 和久



6月のスケジュール

日時	行事
6月10日(土)	いっぽ食堂(小学生以上)
6月14日(水)	あっちこっち紙芝居
6月19日(月)	定例会議
6月26日(月)	避難訓練 PM
6月28日(水)	避難訓練 AM

大切なご連絡

6月10日は、いっぽ食堂を開催する予定となっております。保護者の参加も可能となっておりますので奮ってご参加ください。なお、ご案内と出欠の締め切は6月3日となっております。

小中学生編（5月活動）

～屋内外の活動～

5月のいっばは、のんびりとした活動をメインに室内、屋外で過ごしました。室内では、比較的自由に過ごすようにしていますが、おやつ後の茶碗洗いなんかは仲間がいるから楽しく進んでやってくれたり、見ていてホッコリとさせられます。また、遊んでばかりではなくゲーム感覚の書き取りであったり、あっちこっち紙芝居の手品でタネを見つけようと頭をフル回転させたりと、家にこもってひとり過ごす時間とは全く別の時間を過ごしています。

屋外では、ゴミステーションの入れ物が壊れ、子どもたちと一緒にトンカチ持って修理をしたり、虫取りや、今までチームスポーツに参加しない子たちが野球を始めたり、羊と一緒にのんびり過ごしたりと、自由に「先生〇〇したい」と進んで活動しています。スタッフもそれに応えるべく対応していますが、安全を確保する事を優先に、緊張しながらも出しゃばり過ぎないように見守っています。



「見てるだけで癒されます」



「外での食事は最高です。」 「山菜採りの後、途別で炊事遠足を実施しました。」



～羊の毛刈り～

ここ3日ほど気温も上がり、メイとミイのモコモコの毛がとても暑そうでかわいそうと思っていましたがタイミングよく27日に毛刈りを実施出来ました。刈り立ての毛はどんな手触りかな？毛刈りの後、お昼ごはんはBBQで大いに楽しみました。



～避難訓練～

今年度に入り、毎月1回避難訓練を実施することを目標に取り組みが始まりました。今月は5月30日となり、お便りに載せられないので4月27日に実施した内容をお知らせいたします。突然大きな音で警報アラームが鳴り、スピーカーから地震の揺れとガラスの割れる音などが建物の中に響き渡りました。いつもの訓練とは違う緊張感が一気に広がりとても良い訓練となりました。日ごろから、「大地震の時は立って歩くことが出来ないの、その場で頭をかばい伏せる事、揺れが収まってもすぐに余震または本震が来ることを想定し、すぐに立ち歩かないこと」を話していたことを守り、子どもたちの落ち着きに安心しました。



ひつじ組 編 (午前未就学児)

～みんな大好き外遊び～

天候に恵まれることが多く、毎回様々な場所にてあるき、そこでめいっぱい駆けまわったり、大好きな遊具で遊んだりする中で、順番を守ることを教えてもらったり、仲間が楽しそうに遊ぶ姿を見て、自分も挑戦しようと思えたり・・・子ども同士の中で子供って成長するものです。大人は、子供が助けを求める様子を発信するまで、じっと見守るのが大事。“信じて待つ”これは中々難しいものです。ついつい、先々に、子供が失敗しない様に声をかけてしまいがちですが、いっぽのスタッフはぐっとこらえて、子供の発信を待ちます。

羊のメイちゃんとミイちゃんに、美味しい草を食べさせてあげるには、自分で草を採ってきて、食べやすいように口元まで持って行って与えるという一連の動作は、お仕事の要素が含まれており、それこそが、他者を思いやる優しい気持ちを育むことに繋がっていくんですね。



～室内活動～

思わず自然に指差しをしたくなる絵本の読み聞かせや、大好きなお母さんを思って、真剣に制作活動に取り組んでいる姿に、母という存在は、その子にとって、世界で一番大切な人なんだな～と改めて感じました。

次は父の日制作！
お楽しみに～♡

